

2026(令和8)年度 旭丘高等学校生徒募集

募集学科 普通科(男女)・総合学科(男女)〔男女共学〕

※普通科には「一般クラス」「クリエイティブクラス」「不登校生ベーシッククラス」があります。

※総合学科には「大学進学クラス」「リーダーズ・アカデミー、一般学業進学クラス、スポーツ進学クラスの3つ」と「国際クラス」「進路探求クラス」「不登校生ベーシッククラス」があります。

※大学進学クラス(リーダーズ・アカデミーと一般学業進学とスポーツ進学)と国際クラスには大学進学者を対象にした「特別奨学生制度」(詳細は本校体験入学の特設講座や地区別相談会などの場でおたずねください)があります。

※2025年度から「大学進学クラス」に「リーダーズ・アカデミー(特別学業進学クラス)」が新設されています。

体験入学セミナー開催

会場：第1校地(城内キャンパス) / 第2校地(久野・荻窪キャンパス) ⌚ 各回9:00～

第1回	7/26(土)	第2回	8/23(土)	第3回	9/13(土)	第4回	9/27(土)
第5回	10/11(土)	第6回	10/25(土)	第7回	11/15(土)	第8回	11/22(土)
第9回	11/29(土)	第10回	12/6(土)	第11回	12/13(土)	第12回	2026 1/10(土)

体験入学セミナーの申し込み方法

参加申込は、右記コード(miraicompass)よりお申し込みください。
miraicompassに一度登録すると、次回以降の申し込みが簡単!miraicompassは学校・受験生の受験・入試をサポートするサービスです。
イベント予約・インターネット出願を中心に全国の小学校・中学校・高等学校1200を超える学校で利用されています。

文化祭(見学と相談会)

11/8(土)

⌚ 午前10時～午後2時

中学生と保護者の皆さんは見学できます。
お問い合わせは旭丘高校事務所まで。

入試相談室を開設(いつでも進路相談可能です)

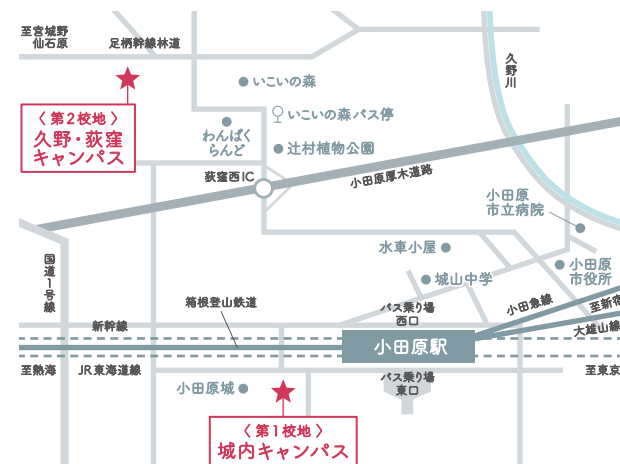
担当教員が、皆さんの学びや進路への願いを聴き取りながら、
旭丘高校の授業やカリキュラムについてわかりやすく説明します。⌚ 平日 17:00～20:00
土日祝 9:00～17:00

※他の時間帯でも相談に応じます。

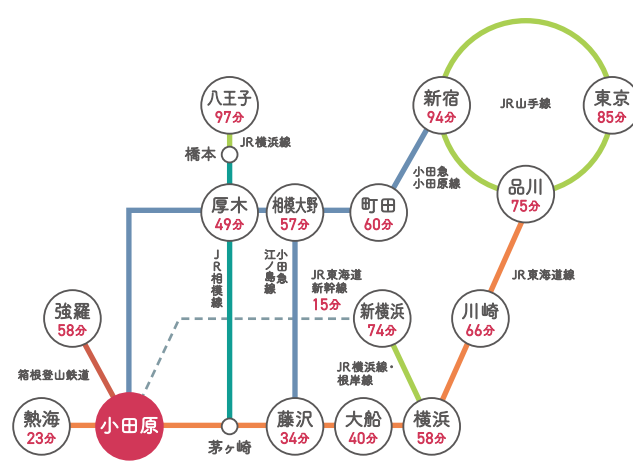


ACCESS

小田原駅からのアクセス 車・徒歩



小田原駅までのアクセス 電車・新幹線



! HPもチェック!



学校法人新名学園 旭丘高等学校

第1校地 | 〒250-0014 神奈川県小田原市城内1番13号
TEL 0465-24-2227(代) FAX 0465-22-0216第2校地 | 〒250-0042 神奈川県小田原市荻窪1980
TEL 0465-21-0660(代) FAX 0465-21-0680<http://www.niina-gakuen.jp>

学校法人新名学園

旭丘高等学校

ASAHI GAKUEN
SENIOR HIGH SCHOOL

一人ひとりの進路を拓く

Think Globally,
Act Locally

一人ひとりを輝かせる教育で 希望の進路へと導きます

新名学園旭丘高等学校は、2023年10月に
創立120周年の節目の年を迎えました。
建学以来の伝統である、
個性に応じた学校づくりを受け継ぎ、
教育体制を発展させて、
多様な生徒を受け入れ伸ばす環境を
整えています。
またThink Globally , Act Locallyの
視野を育むため、地元小田原と連携した
グローバル教育も展開しながら、
一人ひとりの人間形成、
進路形成に結びつけています。

旭丘高等学校「建学の精神」

右の言葉は1902（明治35）年に、新名学園旭丘高等学校を
小田原の地に開設された新名百刀先生の講話の中の言葉で
す。生徒一人ひとりの可能性を大切にする建学の精神は、
「全面的に発達した人間の育成を図る」とした現在の旭丘高
校の教育目標に受け継がれ、国際化、情報化、個性化の「人
間の世紀」を担う子どもたちを育てる私学づくりがすすめら
れています。

教育目標

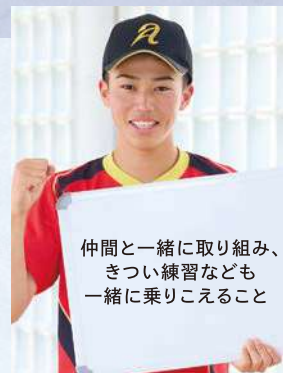
本学は、生徒一人ひとりの人格を重視し、
自分の意志で自由に学び成長していく環境、体制を整えます。
また学校教育を校舎のなかにとどまらず、
地域活動への参加をはじめとする取り組みを通して
より豊かな人間性、感受性、社会性を身に付ける
人間育成に努めます。



なくてはならぬ指折仲間の人となれ
悪しきとて、ただ一筋に捨つるなよ、
渋柿を見よ、甘干となる

学園創立者 初代校長 **新名 百刀**

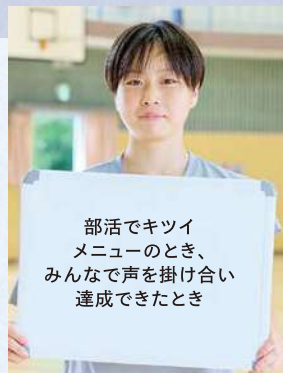
- 新名学園創立記念日 毎年10月1日（百刀生誕日）
- 建学の精神を想う日 毎年9月第二月曜日
（百刀 祥月命日に近い月曜日）



仲間と一緒に取り組み、
きつい練習なども
一緒に乗り越えること

Q 学校生活・部活の中で身についたことは？

総合学科スポーツ進学クラス3年
久保田太陽さん
(相模原市立大野北中学校出身)



部活でキツイ
メニューのとき、
みんなで声を掛け合い
達成できたとき

Q 部活に入って良かったことは？

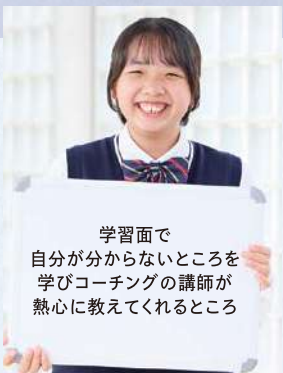
総合学科スポーツ進学クラス1年
田中玲良さん
(寒川町立寒川中学校出身)



他の文化との
関わり合いがしやすい。
選択授業の学べる
幅が広い。

Q 旭丘高校のいいところは？

総合学科科学進学クラス3年
椿爽良さん
(平塚市立中原中学校出身)



学習面で
自分が分からないところを
学びコーチングの講師が
熱心に教えてくれるところ

Q 一番嬉しかったことは？

リーダーズ・アカデミークラス1年
小林瑠羽さん
(小田原市立橘中学校出身)



中学で
つまづいた部分を
旭丘高校では
再スタートできたこと

Q 旭丘高校に入学してよかったことは？

普通科クリエイティブクラス3年
鹿股琉楓さん
(伊勢原市成瀬中学校出身)



やりたくないことや
しんどいことも、
継続する中で楽しくなり、
やって良かったと思え、
色々挑戦できるようになった

Q 学校生活・部活の中で身についたことは？

ベーシッククラス3年生
三島さくらさん
(茅ヶ崎市立松浪中学校出身)



日本語を覚えたこと。
全国大会で結果を
残したこと

Q 一番嬉しかったことは？

総合学科スポーツ進学クラス3年
バトエルデン バトボルドさん
(ナランボラダ郡総合教育中学校出身)



環境がいい。
生徒の意見を
受け入れてくれる

Q 旭丘高校のいいところは？

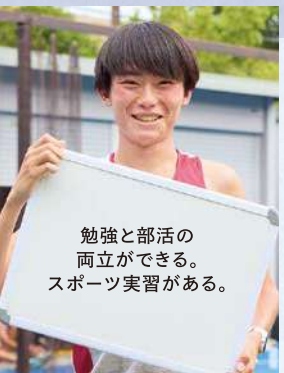
総合学科スポーツ進学クラス2年
神保あゆみさん
(小田原市立鴨宮中学校出身)



仲間を信じること

Q 学校生活・部活の中で学んだことは？

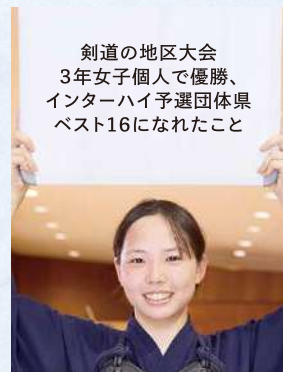
総合学科スポーツ進学クラス1年
青山拓磨さん
(小田原市立城北中学校出身)



勉強と部活の
両立ができる。
スポーツ実習がある。

Q 旭丘高校のいいところは？

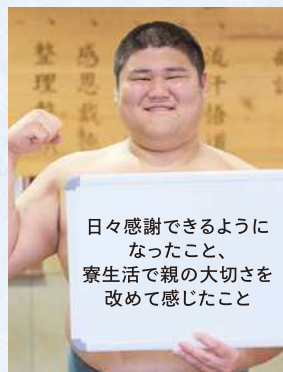
総合学科スポーツ進学クラス3年
永井愛都さん
(松田町立松田中学校出身)



剣道の地区大会
3年女子個人で優勝、
インターハイ選団体県
ベスト16になれたこと

Q 一番嬉しかったことは？

総合学科スポーツ進学クラス3年
田中結菜さん
(小田原市立白山中学校出身)



日々感謝できるよう
なったこと、
寮生活で親の大切さを
改めて感じたこと

Q 部活に入って良かったことは？

総合学科スポーツ進学クラス3年
根上航平さん
(静岡市立高松中学校出身)



人の意見をきいて
まとめて発表する
難しさ

Q 学校生活・部活の中で学んだことは？

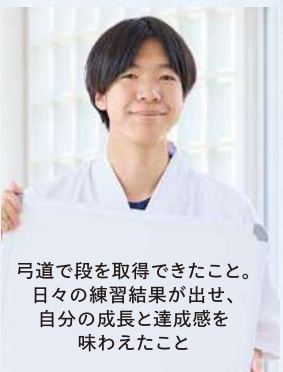
リーダーズ・アカデミークラス1年
馬場千聡さん
(二宮町立二宮中学校出身)



これからの進路を
先生と考えられる。

Q 旭丘高校のいいところは？

総合学科スポーツ進学クラス3年
鈴木澤穂さん
(厚木市立西毛利中学校出身)



弓道で段を取得できたこと。
日々の練習結果が出せ、
自分の成長と達成感を
味わえたこと

Q 一番嬉しかったことは？

普通科クリエイティブクラス3年
二村龍成さん
(開成町立立命中学校出身)



困ったことは
気軽に人に
頼っていいこと

Q 学校生活・部活の中で学んだことは？

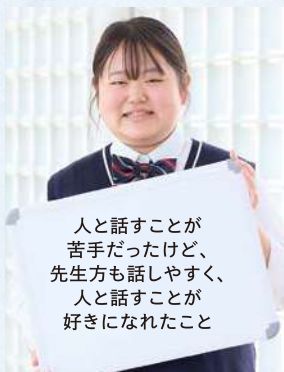
リーダーズ・アカデミークラス1年
牧野晴太郎さん
(山北町立山北中学校出身)



共に切磋琢磨する
仲間ができたこと

Q 一番嬉しかったことは？

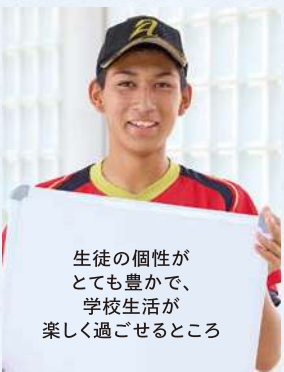
総合学科スポーツ進学クラス2年
崇島渚さん
(平塚市立中原中学校出身)



人と話すことが
苦手だったけど、
先生方も話しやすく、
人と話すことが
好きになれたこと

Q 旭丘高校に入学してよかったことは？

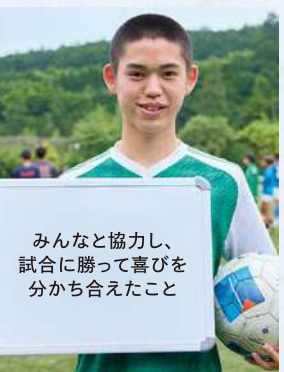
普通科一般クラス3年
神崎瑠美さん
(藤沢市立大清水中学校出身)



生徒の個性が
とても豊かで、
学校生活が
楽しく過ごせること

Q 旭丘高校のいいところは？

総合学科スポーツ進学クラス3年
藤森愛希さん
(平塚市立横内中学校出身)



みんなと協力し、
試合に勝って喜びを
分かち合えたこと

Q 部活に入って良かったことは？

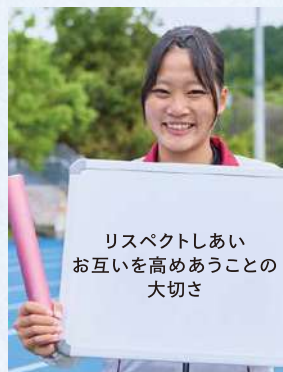
総合学科スポーツ進学クラス3年
永野柊輝さん
(茅ヶ崎市立中島中学校出身)



来て後悔しない!!

Q 中学生の皆さんにヒトコト

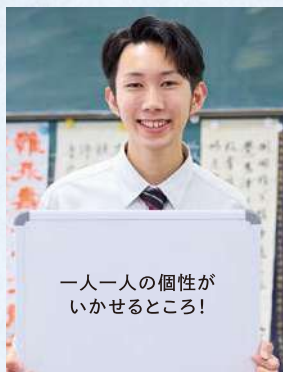
総合学科スポーツ進学クラス2年
津久井麗翔さん
(二宮町立二宮中学校出身)



リスペクトしあい
お互いを高めあうことの
大切さ

Q 学校生活・部活の中で学んだことは？

総合学科スポーツ進学クラス2年
中田葵さん
(相模原市立相模中学校出身)



一人一人の個性が
いかせるところ!

Q 旭丘高校のいいところは？

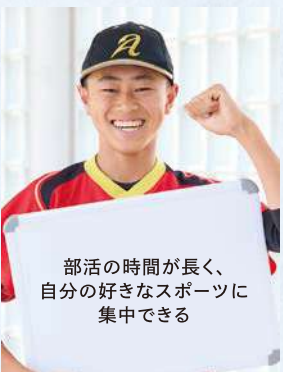
普通科クリエイティブクラス3年
泉龍玖さん
(二宮町立二宮西中学校出身)



部活動では
スポーツだけでなく
ボランティアに参加し、
地域をよくする活動に
参加できたこと

Q 部活に入って良かったことは？

総合学科スポーツ進学クラス3年
小嶋咲希彩さん
(茅ヶ崎市立中島中学校出身)



部活の時間が長く、
自分の好きなスポーツに
集中できる

Q 旭丘高校に入学してよかったことは？

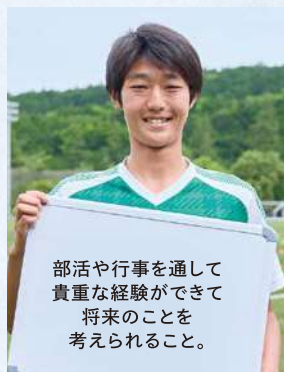
総合学科スポーツ進学クラス3年
長島知暉さん
(平塚市立江陽中学校出身)



勉強習慣。
旭丘に入学してから
少しずつ
勉強時間が増えた

Q 学校生活・部活の中で身についたことは？

リーダーズ・アカデミークラス1年
石川星さん
(南足柄市立南足柄中学校出身)



部活や行事を通して
貴重な経験ができて
将来のことを
考えられること。

Q 旭丘高校に入学してよかったことは？

総合学科スポーツ進学クラス1年
堀口蓮さん
(平塚市立旭陵中学校出身)



普段できない体験が、
たくさん経験できる!

Q 中学生の皆さんにヒトコト

ベーシッククラス2年生
四條小弓さん
(厚木市立厚木中学校出身)



団体戦(2-2)の
大将決で勝ち、
インターハイ出場を
決めたこと

Q 学校生活・部活の中で学んだことは？

総合学科スポーツ進学クラス2年
野地陽良さん
(箱根町立箱根中学校出身)



副部長として
たくさんの仕事を
担当する中で、
視野を広げて
周りを見ること

Q 学校生活・部活の中で学んだことは？

総合学科科学進学クラス3年
柴田早彩さん
(秦野市立東中学校出身)



サポートが
手厚いところ

Q 旭丘高校のいいところは？

総合学科進路探求クラス2年
野原一護さん
(茅ヶ崎市立鶴が台中学校出身)



初めてブロックが
できた時に
チームの士気が
上がった時

Q 一番嬉しかったことは？

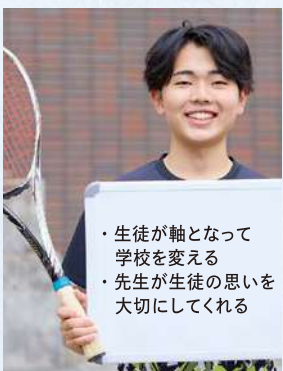
総合学科進路探求クラス2年
小川大次郎さん
(茅ヶ崎市立鶴嶺中学校出身)



班長をやる中で
まわりを見ることが
身についた!

Q 学校生活・部活の中で学んだことは？

総合学科科学進学クラス2年
レーゲン パオ ハンさん
(秦野市立鶴巻中学校出身)



・生徒が軸となって
学校を変える
・先生が生徒の思いを
大切にしてくれる

Q 旭丘高校のいいところは？

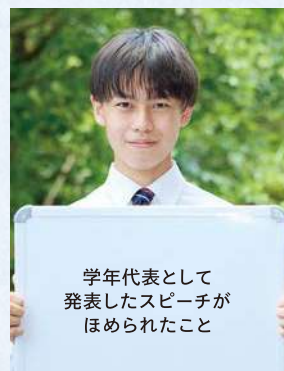
総合学科スポーツ進学クラス3年
渡邊恵真さん
(厚木市立南毛利中学校出身)



継続力・忍耐力

Q 学校生活・部活の中で身についたことは？

ベーシッククラス3年生
眞壁和奏さん
(小田原市立城山中学校出身)



学年代表として
発表したスピーチが
ほめられたこと

Q 一番嬉しかったことは？

ベーシッククラス2年
毛利圭孝さん
(茅ヶ崎市立梅田中学校出身)



色々な人と
触れ合えるところ

Q 旭丘高校のいいところは？

総合学科科学進学クラス3年
神崎はるなさん
(秦野市立東中学校出身)



中学時に比べ、
活動時間が多く、
高レベルで
メンバー決めも
激しいが、
とても楽しいこと

Q 部活に入って良かったことは？

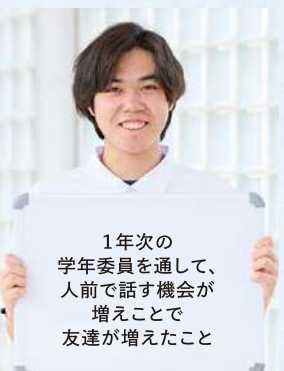
総合学科スポーツ進学クラス1年
中井幸さん
(三島市立北中学校出身)



自分にあった授業を
受けられるところ

Q 旭丘高校に入学してよかったことは？

総合学科進路探求クラス3年
吉田海音さん
(平塚市立山城中学校出身)



1年次の
学年委員を通して、
人前で話す機会が
増えことで
友達が増えたこと

Q 一番嬉しかったことは？

普通科クリエイティブクラス2年
石室貴仁さん
(座間市立座間中学校出身)

旭丘高校のキャリア教育

ACADEMIC AND CAREER COUNSELING OF ASAHIGAOKA



教育の特徴

本校では、青年期の自立と学びの課題に応えるため、「成長」と「発達」を現実の生活や社会のなかでとらえ、「生活と教育を結合させる」視点で教育課程が編成され、普通科・総合学科の両課程ともに、様々な青年期教育のカリキュラム

が配置されています。本校の教育課程は、「自主的民主的な活動と社会参加を通して豊かな学力と勤労を重んじる全面的に発達した人間の育成を図る」という教育目標を具体化したものです。その特徴は以下のような点にあります。

- 1 それぞれの個性と成長過程のなかで、様々な発達の願いと課題をもつ子ども・生徒たちの学びと発達を保障するための多様なカリキュラムが用意されています。
- 2 子ども・生徒の「学力」と「発達」の問題を、教室や学校の枠のなかだけでとらえるのではなく、子ども・生徒が生きる、現実としての生活や社会のなかでとらえようとする視点を持ち、「生活と教育の結合」を図っています。
- 3 生徒たちを「学ぶ主体」としていくことを重視し、生徒たちの「なぜ、何のために、何を学ぶのか」という問いかけに応え、「平和」「人権」「環境」など、現代社会の重要なテーマを各教科の授業と総合学習のなかで積極的に取り上げ、生徒と教師が横並びで取り組む問題解決型の学習を大切にしています。
- 4 教室の中の教科学習と、ホームルーム活動を通じた交わりや行事、地域活動への参加など教科外の活動を結びつけ、生徒が現実のなかから学ぶ課題を見出し、学ぶ意欲や関心、目的をもつことから出発して、人間力の基礎となる豊かな学力を育てます。
- 5 全学協議会や全学教育研究会などの場を通して、生徒・保護者の授業・学習への要求を受け止め、生徒・保護者の参加で授業・カリキュラムづくりを進めています。

進路を拓く キャリア教育



3年間のキャリア教育でつかむ生き方と進路

3年間の高校生活を通して生徒が自立し、現代社会の課題と向き合って自らの進路・職業を選択していくために、各学年に参加・自治・学びの活動に関わるテーマが設定され、教育課程全体を通したキャリア教育が展開されています。1年次のテーマは「交わりと自治」、2年次は「平和と人権」、3年次は「進路と生き方」です。

1 年次

人と交わる力を養い 社会的自立の基礎を築く

生徒会主導のもと、ホームルームを基礎として、体育祭・文化祭・社会見学・卒業を祝う会などの様々な行事に取り組みます。生徒自身が目標を立てて、クラス全員が活躍できるよう工夫。充実した高校生活を送るなかで、人と交わる力を養い、社会的自立の基礎を築いていきます。

2 年次

ナガサキ平和学習で 「平和のうちに生存する権利」を学ぶ

長崎修学旅行を節目に「核と平和」の問題に視野を広げ、被爆の実態や「核兵器のない世界」を目指す国際的な動向にも触れて、「平和のうちに生存する権利」を学びます。原爆を自然科学・社会科学両面からとらえた学習、平和への願いを込めた折り鶴づくり(事前学習)、被爆講話と碑めぐり、50字メッセージ作成(現地学習)、合唱構成詩づくり(まとめの事後学習)などを行います。

3 年次

3年間で学んだ3つの力で 「大きな進路」と「小さな進路」を決定する

3年間の、仲間との共同や地域・社会と向き合う学びで得た「手をつなぐ力」「平和を愛する力」「物事を科学する力」をベースに、2つの進路を決定します。人類社会や日本、地域の未来の見通しをつかむ「大きな進路」と、自らの具体的な進学先や就職先などの「小さな進路」です。大学の先生や企業の方を招いた進路ガイダンスや三者面談、志望理由書の書き方や面接の受け方など、丁寧な進路指導が行われます。

自らの進路を拓く力の形成へ

個性を輝かせる教育

「旭丘高校に入って大きく成長した」
あなたもその一人になるはずです

本校の生徒に高校生活について話を聞くと「中学時代には考えられないくらい変わった」「自分を表現できるようになった」「目標が明確になった」といった声を多く聞くことができます。一人ひとりの個性にとって、ふさわしいコースで学び、仲間と出会うことで、自分を大きく解放することができます。そのため積極性や前向きな姿勢が身につく、高校生活を満喫しながら、将来のことも真剣に考えて、努力できるようになります。それが個性を伸ばして輝かせる本校ならではの指導の力です。



なりたい自分に近づくために希望の進路を実現

本校では「学力」の習得、向上とともに希望に応じた進学指導を行い、また豊かで柔軟な「心」を育むためのキャリア教育にも3年間通して取り組んでいます。キャリアガイダンスを随時実施して、一人ひとりに寄り添いながら、自分が学びたいテーマや将来の目標を見出し、それに合わせた進路実現のためのサポートを行っています。

■ 4つの進学コース

リーダーズ・アカデミッククラス(特別進学クラス)

【未来を変える3年間】Leaders' Academyで、夢を現実にする高校生活へ！

学習面では、「まなびコーチング」のコーチが毎日わかるまで丁寧にサポートします。社会で活躍するプロフェッショナルから直接話を聞く機会、さらには地域でのフィールドワークで生きた知識と経験を積むことができます。一人ひとりの個性と希望に寄り添ったきめ細やかな進路サポート体制で、あなたの「なりたい自分」を共に探し、確かな進路実現を力強く後押しします。Leaders' Academyで、あなただけの「最高の未来図」を描き始めましょう。

P19

P20

国際クラス

多国籍の生徒が互いに理解を深め学び合い成長します

将来、国際的なフィールドで活躍したい、という考えをもつ生徒に応えるカリキュラム構成になっています。自分が習得を望む言語を集中的に学べることができ、多国籍の生徒同士による日常生活からも国際感覚が磨かれています。

P21

大学進学・学業進学クラス(一般進学クラス)

将来を見据え、それを実現するための大学を目指します

大学進学を目指す生徒に応えるクラスです。英数国を重点的に学ぶカリキュラム構成が特徴で、キャリア教育において将来の進路または職業を方向付けて、それに応じたきめ細やかな進学指導体制を整えています。

P22

大学進学・スポーツ進学クラス

スポーツを起点にした進路を拓くことができます

本クラスの進路の特徴は大きく2つあり、一つは高校時代の優れた実績をもとに推薦で大学へ進む「アスリート」タイプと、もう一つは、学校選抜型(推薦型)・総合選抜型入試などを活用して大学へ進むタイプです。

P23

P24

職業体験で新しい視点を獲得

課題研究(インターンシップ)の実践

総合学科3年次に職業体験学習が位置付けられています。体験を発表し、学んだことや発見したことを総括。職業観や労働観を培い、各職種における専門性などへの理解を深めます。そして自分の希望する進路、職業を叶えていくための上級学校進学への意欲を高めていきます。



生徒1人1台のPCを活用した教育展開

ICT教育への取り組み

本校では全教室へWi-Fi環境を整備し、生徒1人1台端末(chromebook)を活用した授業を展開しています。教師と生徒の双方向型の授業はもとより、個別学習の充実、生徒の協働学習にも役立っています。また大学や専門家との連携による学びや姉妹校とのオンライン交流にも取り組んでいます。



希望する進路・進学を拓く学習支援

一人ひとりに合ったサポート体制が充実

旭丘高校の進学指導は、生徒が将来の自分の目標を見出し、それに合った上級学校への進学を実現していくキャリア教育が特徴です。学校選抜(推薦)入試・総合選抜型入試とともに、一般選抜入試による大学受験をサポートするカリキュラムと施設の進化・充実に従い、進学実績が向上しています。



「学習室」と「まなびコーチング」による学習支援体制

本校は、放課後に自主学習に取り組むことのできる、情報機器(電子黒板やタブレット型PC等)が整備された「学習室」を設けています。2023年度からは本校と「まなびコーチング」が協力して「学習室」を活用した学習支援体制の充実・進化に取り組んでいます。たとえば平日の放課後と土曜日、夏休み・冬休み・春休みには「学習室」に「まなびコーチング」のスタッフ(教室長とコーチ2名)が常駐し、生徒は右記のような支援を受けられます。

さらに、オンラインで学習プランについてのコーチング面談を受けたり、学習内容におけるさまざまな質問、相談をすることができます。(24時間受付)

① いつでも「学習室」を訪れ質問をしたり学習指導を受けることができます。

② 自分に合った学習プランを立てるサポートを受け、その後もそれを進めていくなかでアドバイスを受けることができます。

③ 進路・進学ニーズに応じ、放課後にさまざまな分野別学習講座を開講します。
たとえば、「進学対応講座」「英検対策講座」「基礎学力定着講座」などがあります。

一人一台端末の導入とスタディサプリの活用

2022年度入学生より生徒一人が一台の端末(chromebook)を持ち、情報活用能力を高めるとともに、教師と生徒の双方向型の授業づくりが進められています。また「スタディサプリ」を導入し、生徒一人ひとりが自分のニーズに合わせた学習内容を映像で視聴し効率的・効果的に学習を行うことができるようにしています。「スタディサプリ」によって、自ら学習を進めることができ、家庭学習への積極的な取り組みが学力向上につながっています。



学習の課題と見通しをつかむ模擬試験

全ての学科・クラスで、それぞれの学びの特徴や課題に合わせた模擬試験を定期的に実施しています。模擬試験の結果を教師が生徒にフィードバックすることで、自分の学習がどこまで進み何が課題なのかを理解し、課題を克服する学習計画を新たに立てます。そして次の模擬試験で学習成果を確かめ達成感を得ることで、さらに意欲を持った学習へ発展させていきます。模擬試験は、自分の目的とする大学・短大・専門学校への合格を果たすための羅針盤にもなっています。



多様な進路のニーズに応えるカリキュラム

生徒一人ひとりの多様な進路に応じた学習をサポートする選択科目の充実も本校の特徴です。大学・短大への進学を希望する生徒には、グレード別の英語・国語・数学の講座や小論文指導の講座が設けられています。また上級学校での専門分野にかかわる検定対策講座や資格取得のための講座も多数配置。夏休み・冬休みには、日常学習をさらに深める理系・文系の進学対応講座や総合選抜型入試に向けたプレゼンテーション講座など、特別集中講座が開講されています。



VOICE

勉強以外のことを相談できるのも魅力です

1年のとき英検準1級を受けるにあたり「まなびコーチング」を利用しました。過去問も豊富に揃い、コーチから分かりやすく指導してもらいとても助かりました。現在は生徒会以外の曜日に利用しており、目指したい大学が見えてきたので、文化系の科目のレベルアップと試験対策を中心に学んでいます。将来はNPO、NGOといった社会問題に向き合う仕事に就くことを希望していて、そのためにも目標の大学への進学を叶えたいと思っています。

総合学科国際クラス2年 杉原絵玲奈さん(箱根町立箱根中学校出身)



自然と共存する 総合的スポーツ・文化施設

生徒たちの発達を保障する総合的な学習の場

第2校地（久野・荻窪キャンパス）には、生徒たちの総合的な学習の場としてスポーツ・文化の施設・設備が整っています。スポーツ施設としては、バスケットボールコートが2面取れるアリーナ体育館やテニスコート、トレーニングルーム、ボルダリングウォール、相撲場、剣道場とともに公式のサッカーコートと陸上の100メートル直線トラックが具備された夜間照明付人工芝グラウンド（第1グラウンド）、そして現在第1期整備が完了した第2グラウンドです。さらに文化施設としては、木工加工室、電動ろくろと焼成窯を備えた陶芸室、農業実習地、共同炊事室などがあり、校地の中に広がるスギとヒノキの森林や校地の境を流れる川も生徒たちの貴重な学習の場となっています。

第二校地の2つのグラウンド

第二校地新総合計画に基づき
2020年に整備された
久野・荻窪キャンパス総合グラウンド



第二校地全体図



人工芝グラウンド



第2グラウンド

《スポーツ施設》



VOICE

雨でも練習できるし、練習試合も多く組める最高の環境です

入学前にサッカー部の練習会に参加し、監督やコーチの話を聞いて「一緒に全国を目指したい」と思いました。また何よりも人工芝のフルコートのサッカーグラウンドがあることに感激しました。雨が降っても練習できるし、部員数が多くても広いからカテゴリーごとに練習できます。副部長としてチームをまとめる役目もあるなか、このサッカーグラウンドで日々人間性も磨いています。

総合学科スポーツ進学クラス3年 津久井麗翔さん（二宮町立二宮中学校出身）



《文化施設》



VOICE

陶芸との出会いが
自分の「進路」も決めました

1、2年では陶芸部に所属し、3年から受験もあるため部活ではなく選択科目として「陶芸」を選んでいました。ろくろを回しているときなどは自分が無になって集中でき、土と友だちになって自由自在に操ることがとても楽しい。陶芸との出会いで大学も美術系の工芸学科を志望し、そのために予備校にも通っています。将来は美術に関わる仕事に就きたいと思っています。部活も含めてこれまで50作品ほど作りましたが、卒業までに集大成の作品を仕上げたいです。

ベーシッククラス3年 正木謙紘さん（小田原市立白山中学校出身）



VOICE

農作の面白さに目覚めて
自家菜園もつくりました

「面白そうだな」、という単純な理由で3年から「農作」の授業を選択しました。畑を耕し、苗を植え、水をまいて、成長していく姿を見るのは「作物を育てている」実感が湧いて予想以上の面白さです。ピーマンやトマトなどの収穫が目前で楽しみです。それはきっと格別の美味しさだと思います。あまりに面白かったので、自宅でも庭の一角で自家菜園を始め、ナスやルッコラを育てています。農作は物事にコツコツ取り組みれば成果が出るということを教えてくれます。

ベーシッククラス3年 篠田大成さん（茅ヶ崎市立須賀中学校出身）



旭丘高校のさまざまな 特徴ある取り組み

学校生活の根拠地・ホームルーム

HOME ROOM

みんなで考え討議して より良い学校をつくる

ホームルーム活動は50年以上前から始まった、本校の伝統的取り組みです。毎週のホームルームで班長会を中心に各クラスの問題点解決の話し合いや学校行事の方針決めなどが討議されます。これは生徒一人ひとりの意見や考えを汲み上げるもので本校の「生徒の主体性」を重んじる校風の表れでもあります。またPTA、教職員、同窓会などで構成される「全学協議会」にも参加しカリキュラムや校則、施設について討議するほか、生徒や保護者が参加しての「授業参観」を通じ、より良い授業などについて話し合う機会もあります。さらに「公開まちづくりシンポジウム」への参加など幅広い視野、思考をもつための機会を提供しています。



VOICE

1年で班長、2年で学年委員を経験し3年では学年委員の三役を務めています。ホームルーム活動を通して、自分の意見を述べ、周囲の意見に耳を傾けて、クラスの問題点を解決することにやりがいを感じています。今は三役として学年全体を良くするために、より広い視野を持ってチャレンジしようと思っています。ホームルーム活動で私自身何ごとにも積極的に取り組むようになり、中学時代と比べると信じられないほど成長できています。勉強面でも頑張れるようになり、将来の目標も見つけました。

総合学科進路探求クラス3年 鈴木ひなたさん(秦野市立東中学校出身)



SDGsと旭丘高校の取り組み

SDGs

本校独自の問題意識が SDGsにつながっています

誰一人取り残さない社会を目指して国連で採択された「SDGs—持続可能な開発目標」に対して、本校では独自の活動を展開。「質の高い教育」に関しては私学助成運動にいち早く取り組んできました。「環境」に関しては地域自治会の久野川・山王川一斉清掃活動に参加。「平和」に関しては長崎修学旅行・平和学習を継続しています。このほか「ジェンダー」に関しては女子制服へのスラックス導入などもあげられます。振り返るとまずSDGsありき、ではなく本校が伝統的に学校や社会の問題に目を向けてホームルーム等を通して、地域と共同して解決してきた取り組みが、SDGsとつながっている結果になっています。



VOICE

去年の私学助成運動の小田原駅前署名活動では100人近くの参加者が集まり、生徒会として力を入れて取り組んできた成果を実感できました。また久野川・山王川の清掃も50人近く集まり環境維持に努めました。参加した生徒からはゴミのポイ捨てはしない、分別するなどの意が高まったという話も聞けました。生徒会に参加していると社会的な問題について考えたり話し合う機会も増え、自分の視野を広げるうえで役立っていると感じています。

ベシッククラス3年 高橋菜南花さん(厚木市立玉川中学校出身)



長崎修学旅行と平和学習

〈平和のうちに生存する権利〉 を学ぶ

NAGASAKI

2年次には、長崎修学旅行での現地学習を節目とする平和学習の年間のカリキュラムが本校独自のユニークな総合学習として展開されます。事前学習は原爆を自然科学・社会科学の両面からとらえた理科と社会科の先生による特別授業、亡くなった被爆者の方の思いを受けとめ平和を願う折り鶴づくりに取り組みます。さらに、長崎現地での平和学習は①被爆地で被爆体験を聞く、②原爆資料館で被爆の実相を読み取る、③被爆者の方々と共に碑めぐりを行い原爆の落ちたあの日を確かにイメージ化する、④爆心地公園で平和宣言を行う、⑤平和学習を総括する集いを持つ、の5段階で構成されています。そして、事後には文化祭で各クラスが平和をテーマとした企画に取り組みむとともに、合唱構成詩づくりや50字メッセージ集づくりに取り組みます。現代における核の問題に目を向け、「核兵器のない世界」を目指す国際的な動向に触れるなかで人類史の到達点としての「平和のうちに生存する権利」を学びます。



VOICE

国語や英語の授業を活用して原爆の本や資料を読んだりして、その実相をイメージしましたが、長崎ではもっと大きなインパクトを受けました。平和祈念館で見た被害の様子には言葉を失いました。被爆者の方の「痛みを知ることが平和のために大事」という話が心に残っています。今まで良く知らなかった戦争について学び、痛みと怖さを知りました。今年は終戦から80年という節目ですが、被爆者の方々の声、話を後世に残し、平和への強い気持ちを持ち続けようと思いました。

ベシッククラス3年 日澤龍飛さん(小田原市立千代中学校出身)



国際連携教育

INTERNATIONAL

姉妹校との 交流・提携

創立110周年を機に位置づけた「国際連携教育」。これまでの中国の西安外国語大学附属西安外国語学校および安陽市開元区高級中学(日本の高校)、モンゴルのツェツェグン経営大学附属ウダム校の三つの姉妹校に加え、中国の私立・鄭州西斯達城市森林学校が昨年の春から新たに姉妹校となりました。コロナ・パンデミックで止まっていた相互訪問によるホームステイや高校生文化・スポーツ交流、授業交流も再開の動きが始まりました。中国で「治水神」として崇められる中国古代夏王朝の碑文を、西安の碑林と酒匂川上流・福沢神社で読み解く「日中高校生共同フィールドワーク」を通して両国の関係を長い歴史的スパンで捉える学びが、旭丘高校ならではの地域と結んだ国際連携教育(Think globally Act locally)の姿を表しています。中国やモンゴルの姉妹校の生徒が旭丘高校に留学して日本の大学への進学を目指す新たな留学生制度創設に向けた共同事業も展開中です。

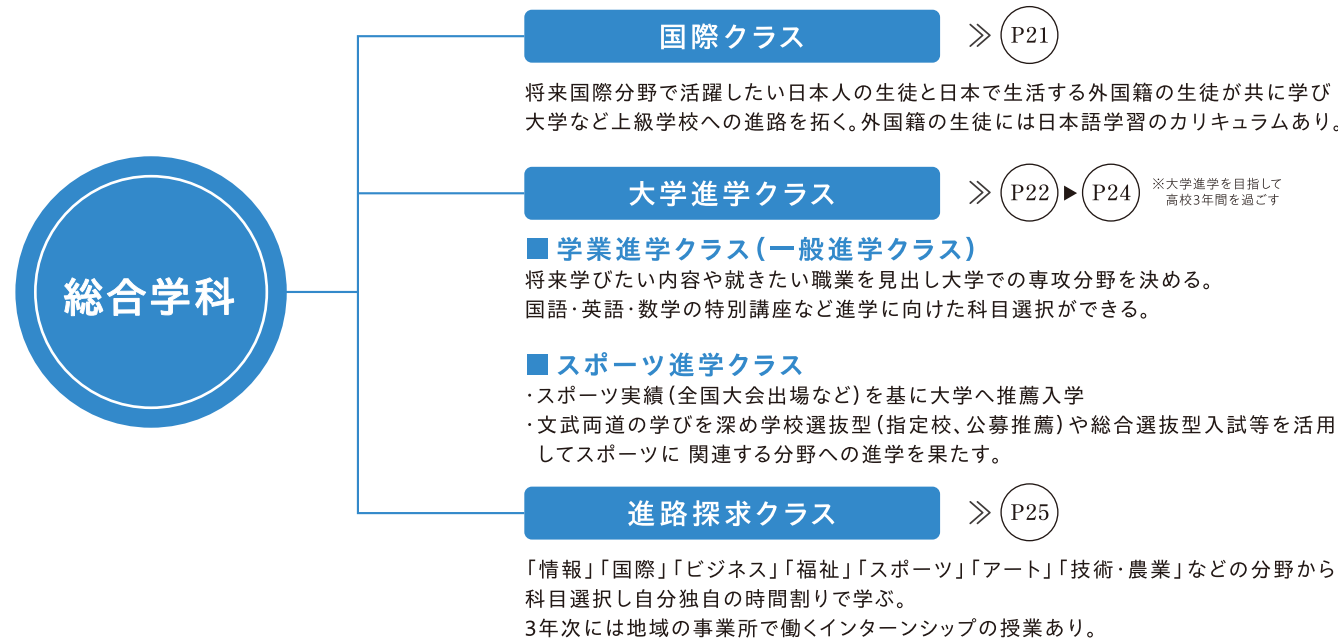
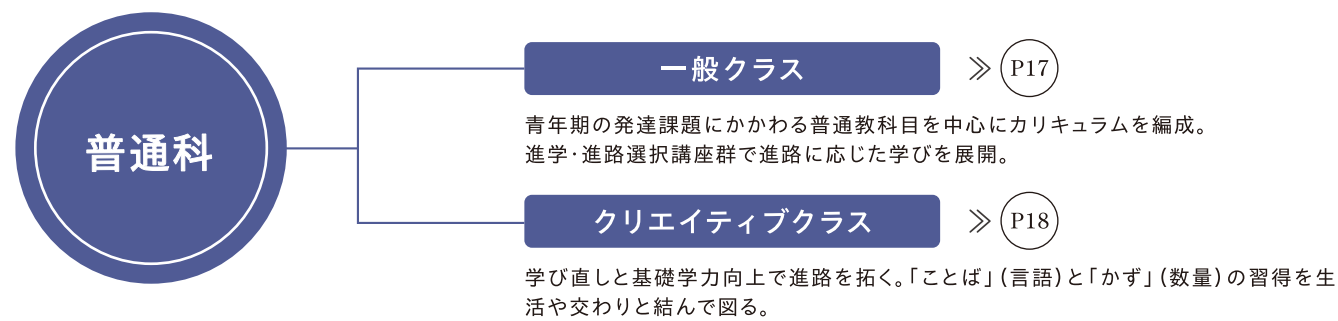


VOICE

中国の姉妹校との文化交流で、現地の3つの学校を訪問しました。当初は文化や言語の違いから少し不安もありましたが、英語や身ぶり手ぶり、表情などで楽しくコミュニケーションがとれました。中国の社会事情、進学事情などについても知ることができ日本との違い色々考えさせられました。私は大学では留学をして世界に関する視野を広げ、将来は国際的な知識や感性を身につけ活躍したいと考えています。中国訪問はグローバルな視点を持つ必要性をより意識させてくれる貴重な体験になりました。

ベシッククラス3年 小宮洋人さん(横浜市立豊田中学校出身)







自分の関心分野を伸ばし 将来の進路へつなげます

知識と学力を身につけ伸ばす、一般教科、普通科目群を中心にカリキュラムが組まれています。2、3年次に普通科目を中心とした多彩な進学・進路講座を設けています。そのため自分自身の関心や進路目標に合わせて学ぶことができ、得意分野の強化と苦手科目の克服が図れます。

また学校生活においてはクラスや学年の課題、各種行事の取り組みについて話し合う「ホームルーム」活動を中心に、物ごとに主体的に関わる姿勢を身につけ、仲間と共同する素晴らしさを体験します。このほか平和、人権、環境などの問題について学ぶカリキュラムにも特徴があります。



VOICE

将来の進路もしっかりと 見えてきました

1年から学年委員を務めているせいか、高校ではコミュニケーション力が上がりました。クラスのまとまりが学年が上がるごとに良くなってきたことが嬉しいですね。個人的には体を動かすことが好きなので、消防官か警察官を目指す専門学校への進学を目指しています。AO入試対策など担任の先生が親身に相談にのってくれて頼りになります。



普通科一般クラス3年
福添采耶さん
(鎌倉市立玉縄中学校出身)



あまり関心をもっていなかった分野ですが「歴史総合」の授業を受けて世界史が面白くなりました。先生の話に惹き込まれ、知識がずっと入ってきます。



学び直しから学力を発展させ 豊かな人間性も育みます

小中学校のときに、何らかの理由で学習に対する困難や苦手意識を抱えてきた人や、高校生活で学び直しをして進路を拓きたいという意欲を持っている人を迎え入れているクラスです。主に1年次は小・中学校の学び直しから基礎学力を回復し、2年次以降は基礎を応用・発展させていきます。段階的なカリキュラムで無理なく学び、進学を希望、実現する生徒も多くいます。

また、さまざまな生育歴と、個性をもったクラスメイトと日々ふれあいながら、学校行事や地域活動などへの参加を通して、他者と関わり、交わることで豊かな人間性を育みます。



VOICE

しっかり学び直し、 大学進学の道も見えています

親切で丁寧な学び直し指導のおかげで、遅れを取り戻すことができ、高校生活を楽しむことができています。また学年委員を1年から続けているおかげもあり、人間関係の築き方も身につけられたと思っています。将来は地元の老若男女、誰もが集えるカフェを運営したい。そのために大学では経営やマネジメントを学びたいと思っています。



普通科クリエイティブクラス3年
鎌田和矢さん
(伊勢原市立伊勢原中学校出身)



人間と社会の在り方を考え、社会課題を追究したりする「公共」は、青年期の心理的成長といったことなども学べるので、とても興味深いです。

リーダーズ・アカデミークラス



「知」と「ビジョン」で、未来の扉を開く。

旭丘高校に誕生したばかりのリーダーズ・アカデミー（特別進学クラス）は、あなたの高校生活をただの「勉強」で終わらせません。このクラスでは、「アカデミア（深い学び）」と「ビジョン（未来像）」という2つの柱を軸に、知的好奇心を最大限に刺激し、将来の夢を具体的に描き、実現へと導きます。地域でのフィールドワークや合宿を通して、「本当の学び」の面白さに触れ、現役大学生との交流でリアルな学びを体験。さらに、社会で活躍するプロフェッショナルからの講話や、教科書だけでは得られない生きた知識と経験を積み重ねます。進路ガイダンスや徹底したサポート体制で、一人ひとりの個性と希望に寄り添いながら、あなたの「未来」を、ここで一緒に切り拓きましょう。

あなたの未来を拓く、多彩なプログラム。

L.A.（リーダーズ・アカデミー）の核は、人間生活・文化を統合的に追求する「全人的教育」です。特別プログラム「未来へのトビラ」では、大学生や社会人の「自分史」と、その人生における「セレンディビティ（幸運な偶然）」に触れます。地域との協働や国際交流といった多様な「本物」の体験を通して、偶然の出会いを好機と捉え、未来の可能性を広げる主体性を育みます。生徒一人ひとりが自らの興味を主体的に探求し、未来を切り拓く確かなビジョンを育みます。



放課後学習での学び合い

VOICE

レベルの高い学習で 将来の道を拓きたいと思います

より高いレベルの大学進学を目指すクラスの第一期生になりました。少人数制のクラスでテンが早く中味の濃い授業が展開され、同時に細かい学習サポートを受けています。高校生活は始まったばかりですが、自分の成長が楽しみです。ガールスカウトの活動をしていて、社会問題の解決や社会貢献などに関心がああり、将来は漠然とそういう分野に進めたらと思っており、そのための知見を身につけられる大学進学を目指したいです。



リーダーズ・アカデミークラス1年
馬場千聡さん
（二宮町立二宮中学校出身）



「歴史総合」は、特に関心のあるヨーロッパ史の新しい発見ができることが楽しいです。外部講師の先生の専門的な話を、わくわくしながら聞いています。

「未来」へのステップが見えた瞬間

高校生活で、こんなに深く
将来を考えられる！



『正直、将来の夢なんて漠然としていました。でも、合宿で大学生や社会人の先輩方のリアルな話を聞いて、衝撃を受けました。計画通りじゃなくてもいいんだ、一つ一つの出会いが未来につながるんだって思えたら、不思議と境界が開けたんです。今では「行ってみたい」と思える大学もでき、具体的な目標に向かって頑張っています！』

「学び」が「実践」に変わる体験

地域を動かす経験が
私を大きく変えてくれた！



『「お祭りに参加する」と聞いた時、最初は少しだけ不安でした。でも、重い旗や慣れない衣装で歩いていると、沿道から「頑張れ！（かわいい！）」って声をかけてもらって、だんだん楽しくなってきました。終わった後の達成感は、今まで味わったことのないものでした。教科書で読むだけだった小田原の歴史を、この肌で感じられた気がします。地域の一員になれたみたいで、すごく嬉しかったです。』

「一人じゃない」安心感

先生も仲間も、いつでも
私を支えてくれる存在



『Leaders' Academyの先生方は、私たちの興味や疑問に真剣に向き合い、どんな質問にも丁寧に答えてくれます。だから、安心して自分の可能性を広げられるんです。仲間と切磋琢磨しながら、きめ細やかなサポートを受けられるこの環境が、私にとって何より心強いです。』



世界を舞台に活躍することを目指したカリキュラムです

将来、国際社会で活躍したいと考える生徒、日本で生活する外国籍の生徒がともに学ぶクラスです。日本人と外国籍の生徒が共通して受ける授業と選択制の授業があります。日本人の生徒は特に大学進学に必要な外国語の習得、外国籍の生徒は日本語能力検定N2以上の習得を目標としています。また英語やスペイン語を母国語とする生徒はその言語力を活用して大学入試に挑戦するケースもあります。

日常生活においては、国を超えて言語を超えて友情が育まれ、お互いの国の事情や文化などを理解し合う、文字通りの国際交流、国際教育が実現しています。

目標を定めた大学進学をサポートするきめ細かく充実した指導を展開

大学への進学を目標にしたクラスです。カリキュラムは、英数国など進学の基礎となる科目を重点に学ぶ共通履修科目をベースに、それぞれの進学学習に必要な科目を受講できる選択講座群を配置。さらに、定期的な模試による学力の到達度診断と結んだ学習計画づくりの指導、放課後と土曜日および夏休み・冬休み・春休みに開室されている学習室での「まなびコーチング」と連携した進学指導体制など、学びの環境が充実しています。またホームルーム担任と進路指導グループが連携して生徒に寄り添い進学のサポートをするキャリアガイダンス体制も特徴です。



外国人による日本語スピーチコンテストの様子

VOICE

将来は韓国でエンタメ系の制作分野に進みたい

国際クラスは色々な国籍の生徒がいて多様な文化を知ることができ、すごく楽しいです。語学に力を入れたかった私は、これまでTOPIK（韓国語能力試験）2級と英検準2級を取得しました。卒業後は専門学校でさらに韓国語の力をつけて、将来は韓国へ留学し、韓国でエンタメ系の制作業界で仕事をしたいと思っています。



総合学科国際クラス3年
基瑞美さん
（藤沢市立鵠沼中学校出身）



韓国語のレベルが上がる「スキルアップ韓国語」はキンバ作りなどを通して韓国文化を多面的に学びつつ、語学スキルを磨くことができます。



VOICE

目標を実現する学習計画は順調に進んでいます

大学では医工学を学び、将来はたとえば手術ロボットなど医療機器の開発や研究に携わりたいと思っています。志望校も絞り、そのための学力アップの取り組みや学習計画などに対して先生方やまなびコーチングでアドバイスをもらっています。学校の恵まれた学習環境が進路実現を後押ししてくれていると思います。



総合学科学業進学クラス3年
菊本葵生さん
（寒川町立旭が丘中学校出身）



私は授業というより高校の環境が好きです。様々な個性を持った同級生と話すことで、自分のコミュニケーション能力が高くなったことを実感しています。



体育・スポーツ・健康分野に特徴的な科目を設けています

総合学科のカリキュラムの特徴を活かし、選択科目を多く設けています。そのため大学進学のための基礎となる普通科目と体育・スポーツ・健康分野の科目群をバランス良く学ぶことができます。体育・スポーツ・健康分野の科目は「科学的なトレーニング実践」「基礎理論(身体工学)」「専門的実技(実践)」「スポーツと進路に係わる学習」などの専門性の高い授業を行っています。また午後の実技の授業と部活動を一体化し、スポーツの技量を追究していく体制も整えています。スポーツ関連の学びは充実していますが、「アスリート」を目指して進学する生徒ばかりではなく、医療、健康系をはじめ教育や福祉、経営、観光、情報など進路はさまざまです。一人ひとりの希望の進路実現を目指し、ほかのクラス同様にきめ細かくサポートしています。

身体を科学する最新機器を「基礎体力」の授業に



「peek a body」は、姿勢分析システムで、peek=見透かすという言葉通り、前後、左右の4方向の写真を撮るだけで、短時間で高精度に身体を透かし見るができます。これによってミリ単位で姿勢の歪みや傾き、筋肉の硬さ、身体へのリスクなどを把握できます。改善点があった場合は修正していくことで、体調不良のリスクを減らすことはもちろん、スポーツにおけるトレーニング効果やパフォーマンスの向上につなげることもできます。公共のスポーツ機関や大学で採用されているシステムを本校ではいち早く取り入れて活用しています。



VOICE

恵まれた環境から 全国上位の成績を目指します

高校で相撲を続けていくうえでいくつか候補がありましたが、学校見学で相撲部の練習環境、監督や先輩たちに触れ旭丘に決めました。寮生活では多くの方に支えられ感謝の毎日です。全国ベスト8の目標はすでに達成したので今年は3位以上を目指します。大学でも相撲を続け、将来はスポーツ関係の仕事に就きたいと思っています。



総合学科スポーツ進学クラス3年
根上航平さん
(静岡市立高松中学校出身)



この授業が
好き

「武道」では相撲のほか剣道、合気道の授業があり、日本の伝統にふれると同時に気持ちをコントロールするうえで相撲に活かせることも多いです。

3つの中心科目

スポーツ進学クラスならではの科目を取り入れています

基礎体力

各種機器を使用した科学的なトレーニングによって自分の身体の仕組みを知ること、スポーツが人間の身体の健康に果たす役割を自覚するとともに、それぞれが取り組んでいるスポーツの種目に合わせた身体づくりにも役立てています。

武道

礼節という目的も持つ日本独自の武道を授業に取り入れています。目的の一つは日本の伝統文化への理解と関心を深めることです。また技の習得だけでなくスポーツマンとして、または人間として自己形成の土台をつくる目的もあります。

スポーツ実習

学校外の体育施設を利用したり、大学を訪問して教授や学生からの指導を受けたり、専門分野を深めていく実習を行います。授業終了後はそのまま部活動に移行することもでき、相撲、陸上、野球、男女バスケットボール、サッカー、剣道などその範囲が拡充しています。



「自分だけの時間割」で学び 希望進路実現を目指します

1年次に基礎的な知識と技能を習得し、2、3年次に多彩な総合選択科目、自由選択科目から、自分の関心や希望進路に応じて科目を選択できます。情報、ビジネス、国際、福祉、アート、スポーツなど分野別の学習が可能で「自分に合った学び」ができる点が特徴です。キャリアガイダンスでは1年次に「交わりと自治」、2年次に「平和と人権」、3年次に「進路と生き方」を実施。特に3年次は大学、短大、専門学校、就職についてそれぞれの分野の講師を招いて話を聞くガイダンスも行っています。また担任との三者面談で一人ひとりの進路についてきめ細かい指導、サポートを徹底しています。

不登校生徒の成長を見守り サポートします

中学で不登校の経験をもつ生徒の学び直しと、コミュニケーション力を身につける授業を行っています。全日制課程での不登校生徒の受入れは県下唯一です。「ことばと交わり」「からだ」「基礎の数学」といった独自の科目を設けているほか、自主性を重んじるホームルーム活動で成長を後押しします。30人以下の少人数編成のため生活、学習両面で一人ひとりに目の行き届いた指導を実現。2、3年次に本校のほかのクラスへの移行も可能です。学校行事や課外活動はほかのクラスと同様の取り組みになり、キャリア教育などを通して高校で新たな目標を見つける機会を多く設けています。



各分野の講師を招いての進路Fes

VOICE

将来は自然と関わる 環境系の仕事に就きたいです

勉強があまり得意ではなかったので、高校では自分に合った道を探したいと思いこのクラスに進学しました。また第二校地の自然環境も魅力的でした。ここまで、生物や環境のことなど興味関心のある分野を学び伸ばすことができています。大学は環境系の学部への進学を目指しAO入試に向けて頑張っています。



総合学科進路探求クラス3年
高橋成生さん
(横浜市立岩井原中学校出身)



第二校地の豊かな自然環境のもと「農業講座」では田植え、野菜作りを体験します。畑を耕し、種を植え、育てた野菜を収穫したときは最高でした。



「からだ」の授業での沢登り体験

VOICE

自分に自信をもって 高校生活を送っています

学び直しでまず学習面で手応えを感じられるようになり、ホームルーム活動や生徒会に参加し、自分に自信が持てるようになりました。いつも周りに「一緒に頑張ろう」という仲間がいるし、生徒会では地域の方との交流もあります。これからは中学でできなかったことに積極的に取り組みたいです。



ベーシッククラス3年
相原日菜子さん
(平塚市立大洋中学校出身)



「からだ」では沢登りなどの体を動かす授業のほか、姿勢が健康に影響を与えることなど座学も面白く、今まで知らなかったことをたくさん学べます。

進路を拓くため先輩たちが選んだ「学び方」



総合学科

スポーツ進学クラス
3年 渡部梨緒さん
(平塚市立大野中学校出身)

陸上部で幅跳びと三段跳びに打ち込んでいます。陸上はアドバイスを受けて、そこに自分なりの考えを加えて工夫して、記録を伸ばすことに喜びを感じます。将来は選手をサポートする側に回りたいと考えていて、専門的な知識や技術で活躍するアスレティックトレーナーを目指しています。

旭丘のここがすごい！

水曜日と金曜日は「スポーツ実習」の日で、専門のスポーツ活動に長時間集中して取り組めます。

■ある1日のスケジュール

朝練	H R	1時限目 基礎体力	2時限目 基礎体力	3時限目 国語	4時限目 地理	昼休み	5時限目 理科講座	6時限目 理科講座	H R	放課後 部活動
----	--------	--------------	--------------	------------	------------	-----	--------------	--------------	--------	------------

このクラスを選んだ理由の一つは、3年間通して、身体について学べるこの科目があったからです。

将来の目標に役立つ、解剖学や関節や筋肉の動きについてより専門的に学ぶことができます。

こだわりポイント！

アスレティックトレーナーを目指すうえで「基礎体力」と「理科講座」はかなり役立ちます。身体の仕組みを知るうえで、たとえば自分の筋肉に線を書いて動きを確認したり、あるいは専門書などをテキストに新しい知識を吸収できます。

■ある1日のスケジュール

H R	1時限目 中国語	2時限目 中国語	3時限目 異文化理解	4時限目 体育	昼休み	5時限目 国語	6時限目 英語	H R
--------	-------------	-------------	---------------	------------	-----	------------	------------	--------

英語以外、外国語はすべてネイティブの先生の指導を受けています。

たとえば他国の習慣を学ぶことでタブーとされる行動なども理解できます。それは将来の仕事にも役立っていると思っています。

外国語学習に力を入れていて、このほか韓国語も選択しています。

旭丘のここがすごい！

金曜日の「課題研究」は体験学習の授業で、私はクラスメイトとともに小田原観光協会で学習しています。学校と連携していて受け入れてもらっているのですが、将来の目標に向かい観光協会の仕事を学べるのはとても有意義です。

総合学科

国際クラス
3年 井上美怜さん
(平塚市立大洋中学校出身)

中学では英語が得意でしたが高校でさらに中国語、韓国語、イタリア語を学んでいます。国際クラスでは友人たちの国の多様な文化にふれたり話を聞く機会があります。また小田原という多くの観光客が訪れる場所で学ぶうち、将来は観光分野でインバウンドをおもてなしする仕事に就きたいと考えるようになりました。

旭丘のここがすごい！

それぞれの目標や夢の実現に向けたコースが揃い、またそのための科目選択ができることです。



普通科

クリエイティブクラス
2年 石室 貴仁さん
(座間市立座間中学校出身)

入学の理由は学び直しができることでした。丁寧な指導で遅れを取り戻し、将来進みたい進路も見えてきました。自分の変化は何よりも中学時代と違って積極的になったこと。「まなびコーチング」を活用したり、生徒会活動に力を入れたり色々なことに前向きな高校生活を送っています。

旭丘のここがすごい！

中学で勉強につまづいたとしても、受け入れて、やり直せる機会をつくり応援してくれるところです。

■ある1日のスケジュール

H R	1時限目 数量	2時限目 歴史総合	3時限目 数学Ⅱ	4時限目 体育	昼休み	5時限目 言語文化	6時限目 生物	H R	放課後
--------	------------	--------------	-------------	------------	-----	--------------	------------	--------	-----

設問の解答とともに、その考え方を発表するユニークなスタイルの授業形成をとることもあります。

まなびコーチング
2年生になり勉強のレベルも上がり、中間テストで点数を落としたことをきっかけに「まなびコーチング」を受けています。テスト対策としてとても効果的です。

こだわりポイント！

理系の学部学科に進学することを考えているので意識的に理系の科目を多く選択しています。生物、特に昆虫が好きなので、そういう分野で研究の仕事に就ければ理想的です。オープンキャンパスなどに参加し志望大学を絞っています。

Q 気になる!質問 A

これから送る学校生活で気になるQ&Aをご紹介します！

Q 学校の雰囲気、特に生徒の皆さんの様子について教えてください。

A みんな自分の選んだコースで、のびのびと学び、行事は楽しいです。特に体育祭、文化祭は全校が一つになって盛り上がります。

Q 勉強に自信が無いのですが…

A それぞれのコースの状況と一人ひとりの学習の到達度に合わせて学び直しや進学基礎づくりをしてくれるので、安心です。進学についても、様々な入試制度を活用して一人ひとりに適したサポートをしてくれます。

Q 遅刻した場合、第二校地へはどのようにして行ったら良いですか？

A 第一校地と第二校地の間を学校のバスが循環しています。まず第一校地に登校し、学校のバスに乗って第二校地に行きます。

Q 万が一、いじめなどの問題があったらどう対応するのですか？

A ホームルームや学年、学校全体を一人ひとりの生徒が大事にされる場にするように生徒たち自身の力で取り組んでいます。もし問題が起きても先生の指導のもと、当事者だけでなく、みんなの問題として話し合い、取り組んで解決していきます。

制服紹介



進路、進学への力強いサポートがあります

旭丘高校は、一人ひとりが考える進路に耳を傾け、見守ってくれる体制があると実感しています。たとえば目指す大学に応じて、学習計画を立て、総合型選抜であれば面接や小論文の指導などきめ細かなバックアップ体制があるのでとても心強いし、先生方が頼りになります。また外国語の語学力を高めたい、ビジネス系の資格取得に力を入れたいといった専門性を伸ばしていきたい場合も、選択科目でその分野の能力を高めることができます。中学生の皆さんも、ぜひ旭丘高校で自分の進路を見つけ、道を拓いていきましょう。

ページッククラス3年 西村葵さん(茅ヶ崎市立北陽中学校出身)



進路を切り拓いた卒業生からのメッセージ

Message



松崎 圭吾さん

立教大学文学部文学科
文芸思想専修 1 年在籍
2024 年度
総合学科スポーツ進学クラス卒業
(小田原市立泉中学校出身)

自分の身体を科学する「基礎体力」などの授業を通し、スポーツの奥深さと楽しさをより強く感じました。相撲部主将を務めた 3 年時に大分インターハイに出場したことや関東大会でチームとして準優勝したことは忘れられない思い出です。授業やモンゴル留学生の仲間との交わりを通して、「言語」が人と人との交わりや文化、平和をつくる根幹にあると考え、将来は言語の大切さを教える教師になりたいとの思い、文学部への進学を決めました。



ヘエン カニカさん

横浜薬科大学薬学部
薬学科 2 年在籍
2023 年度
総合学科国際クラス卒業
(大田区立枇杷谷中学校出身)

中学校に入学するときに日本にきました。日本語の力をはじめ、日本の大学に進学するための学力を身につけるために旭丘高校の国際クラスに入学しました。昔、ひいおばちゃんが日本で看護師をしていたことから、私も医療に携わる仕事をしたいとの夢があり、薬学部に進学しました。将来はドラッグストアの薬剤師になって様々な人たちのからだところの健康をサポートしていけたらいいと思っています。



山中 健太さん

東海大学体育学部 3 年生
2022 年度
総合学科スポーツ進学クラス卒業
(厚木市立南毛利中学校出身)

大学で量質ともにレベルの高い練習とより強い選手との競い合いに直面しながらも自分が頑張ってきたのは、高校時代に培ってもらった下地、つまり「基礎体力」でのスポーツに関する深くて広い学びや身体の基礎づくりがあるからだ実感しています。大学でも、文武両道の心を忘れずに取り組み、学業成績も良好な成果をあげ、毎年全日本インカレに出場し上位に入ることができています。



廣門 希美果さん

小田原市立病院看護師
(三育学院大学看護学部卒業)
2020 年度
総合学科学業進学クラス卒業
(平塚市立江陽中学校出身)

この春から小田原市立病院で看護師として働いています。高校 1 年の看護体験で、ただ身体を治療するだけではなく、人として患者さんとかかわり、心も含めての回復をサポートする看護師さんの姿に出会ったことが私の原点です。手術室勤務となり、緊迫した状況の中で執刀医の先生をはじめとするスタッフのみなさんの気持ちを读みながら息を合わせて行ける力は、高校時代のホームルームや硬式テニス部の活動、大学の寮長をしたこと等を通して培ってきたものだと思っています。



野地 高良さん

箱根町職員
(中央大学文学部卒業)
2019 年度
総合学科スポーツ進学クラス卒業
(箱根町立箱根中学校出身)

高校・大学と相撲の選手として全国大会に出場することができ、そんな自分をずっと応援し支えてくれた箱根町に恩返しをしたいと思い、公務員試験を受けて箱根町役場の職員になりました。現在は窓口業務に携わっていますが、箱根町に住む皆さんの生活に密着してサポートする仕事は自分の望んでいたもので、とても充実感を覚えています。相撲はこれからも続け、相撲を通して地域とかかわり子どもたちの育成にも貢献したいと思っています。

旭丘高校では 3 年間で自分の夢や目標を見つけ、育んだ生徒たちが、その実現に向けて次のステージで頑張っています。イキイキと自分の道を拓いている卒業生たちからのメッセージです。



谷口 諒さん

ドイツ ハンブルク
音楽院留学中
(洗足学園音楽大学
音楽学部卒業)
2018 年度
普通科一般クラス卒業
(西尾市立西尾中学校出身)

在学中、私は学年委員や班長、吹奏楽部の部長といった役割を経験する中で、人とのコミュニケーションの取り方を学び、自己のアイデンティティを確立して来ました。吹奏楽部のソロコンサート終演後にあるお客さんが「あなたの音とっても綺麗だったよ。感動した。これからも頑張るね!」と言葉をかけてくれたことで、音楽家として生きていきたいという思いを強く抱く様になりました。



林 莉花さん

間中病院
リハビリテーション部
言語聴覚士
(帝京平成大学
健康メディカル学部卒業)
2018 年度
総合学科進路探求クラス卒業
(小田原市立城山中学校卒業)

高校時代に人前で言葉が出ない「かん黙症」の仲間と出会い、なんとかサポートしたいと思ったことから、話したり聴いたりすることに困難がある言語聴覚士になりたいという目標が生まれました。いま仕事をしていて、相手の状態を改善できたときはもちろんですが、「出会えてよかった」と言ってもらえることがとても嬉しく、あらためて、「一期一会」の気持ちで人とかかわって行きたいと思っています。



古本 健優さん

大和市立小学校教員
(和光大学現代人間学部
心理教育学科卒業)
2014 年度
総合学科ベーシッククラス卒業
(藤沢市立第一中学校)

教師を目指したきっかけは、高校時代に特別支援級の小学生たちと太鼓を叩いた時、最初は無気力、無感動に見えた子どもたちが次第にバチさばきを覚え、輝く笑顔を見せてくれたときの感動です。いまは、不登校だった自分の経験に根差し、課題を抱えた子どもたちにも寄り添い、その子が一步一步前に進むことが出来るように働きかける自分の姿勢が保護者からも信頼されていると実感できています。

阿武刈関

幕内力士・阿武刈をはじめ
多くの卒業生が大相撲界で活躍

現在、大相撲界で本校の多くの卒業生が活躍しています。その先頭に立っているのが、7 月場所に幕内東三枚目で臨む阿武刈関(チョイジルスレン、阿武松部屋)と幕下東筆頭旭海雄(ダライバートル、大島部屋)。共にスポーツ進学クラスから日本体育大学に進学・卒業したモンゴル留学 I 期生です。さらに序二段では、伊勢ヶ濱部屋(伊勢ヶ濱部屋)の二人、蒼富士(原尾文隆)と鶴ノ富士(青木康文)も奮闘しています。オチルサイハン(モンゴル留学生伊勢ヶ濱部屋)と高原契斗(二子山部屋)もデビューへの準備を進めています。





SCHOOL EVENTS

仲間とともに
学校生活

年間行事

4 April

- 入学式
(新入生オリエンテーション)
- 身体測定
- 内科検診
- 歯科検診
- 進学模試
- 進学模試(適性検査)

5 may

- クローバー祭
(体育祭)
(進学者オリエンテーション)
- PTA総会

6 June

- 中間試験
(就職オリエンテーション等)
- ホームルーム懇談会
- 進路講演会
- 進学模試

7 July

- 期末試験
- 全学協議会
- 地域教育懇談会
- 視聴覚教室
- クラブ合宿
- 進路FES

8 August

- 全学教育研究会
(第1部)
- 平和集会
- クラブ合宿
- 夏季進学講座

9 September

- 就職活動
- 修学旅行(2年)
- 社会見学(1・3年)
- 避難訓練
- 進学模試
- 進学模試(適性検査)

10 October

- 中間試験
- PTS懇談会
(三者教育懇談会)

11 November

- クローバー祭
(文化祭)
- 全学教育研究会
(第2部)
- 進学模試

12 December

- 卒業試験
- 期末試験
- 全学協議会
- 生徒総会
- 進路FES

1 January

- かるた会
- 全学教育研究会
(第3部)
- 進学模試
- 進学模試(適性検査)

2 February

- 卒業を祝う会
- PTA総会

3 March

- 卒業式
- 学年末試験
- 生徒総会
- 進路FES

VOICE

文化祭



文化祭には2年続けて軽音楽部として参加しました。特に去年はバンドの演奏技術も上がり、かなり受けたと思います。日頃の練習でメンバーで話し合って上手になっていくのを実感するとすごく嬉しい。今年の文化祭も楽しんで、みんなで盛り上げたいですね。

普通科クリエイティブクラス3年 菊池優也さん
(平塚市立春日野中学校出身)



社会見学に行った「江ノ島水族館」での学びをもとに、ウミガメが亡くなってしまう原因を来場者に解いてもらうクイズ仕立ての展示を行いました。私はストーリーづくりにも参加し、多くの人に好評だったので嬉しかったです。今年の文化祭も工夫を凝らしたいです。

ベーシッククラス2年 横山美美さん
(仙台市立五橋中学校出身)

VOICE

体育祭



2年のとき、クラスみんなでまとまって練習をして総合一位をとれた体育祭が印象に残っています。ホームルームの時間をはじめみんなでまとまって集中して練習に取り組んだ結果でした。個人的にも借り物競争、タイフーン、ムカデ競走と好成績を残しました。

普通科一般クラス3年 水島土耀さん
(茅ヶ崎市立西浜中学校出身)



1年のときはみんなの手形アートで横断幕をつくり、3年では話し合って鉢巻を揃えました。2年のときはムカデ競走で学年2位になりました。体育祭はクラスで協力する一体感がいいです。競技結果は二の次で、みんなと仲良く楽しむことが一番の思い出になります。

普通科クリエイティブクラス3年 山内未来さん
(藤沢市立高浜中学校出身)



CLUB ACTIVITIES

仲間と鍛える
心技体目標への
チャレンジ



運動部

- 相撲部
- 陸上部
- サッカー部
- バスケットボール部
- 野球部
- ボウリング部
- 弓道部
- 剣道部
- 硬式テニス部
- ソフトテニス部
- 卓球部
- バドミントン部
- バレーボール部
- AFC(釣り)同好会

文化部

- 吹奏楽部
- 演劇部
- 書道部
- イラスト部
- 合唱部
- ティーコーディネート部
- 軽音楽部
- 交通研究部
- 生物部
- 陶芸部
- 農芸部
- 美術部
- 文芸部
- 簿記部

地域にも貢献するクラブ活動

旭丘高校のクラブは、地域の行事やボランティアにも貢献しています。地域で開催される多くのお祭りや催し物では、相撲部がちびっこ相撲の指導をし、吹奏楽部が出演。幼稚園や保育園での相撲指導、クリスマスなどのコンサートにも招かれます。地域ぐるみで取り組まれる山王川・久野川一斉清掃活動にも、生徒会の代表と有志の生徒とともに野球部やサッカー部が部をあげて参加し協力してきました。



VOICE

運動部

全国目指してこのままの勢いで勝ち上がりたい

高校でサッカーをやるうえで練習環境の素晴らしい旭丘を選びました。チームは50人以上いますが、みんな明るくコミュニケーションも抜群で、お互いに切磋琢磨しています。自分も高校で技術がすごく向上したと実感しています。今年は全国高校サッカー選手権大会の県一次予選を突破したので、この勢いで頂点まで勝ち上がりたいです。また大学進学ではスポーツ推薦がもらえると思うので、卒業後もサッカーを頑張ります。

総合学科スポーツ進学クラス3年 竹澤蓮さん
(横浜市立日限山中学校出身)



どう記録を伸ばすか考えるのが楽しいです

中学では短距離でしたが高校でフィールド担当の顧問に誘われて、幅跳びと三段跳びに種目を変えました。新しいチャレンジでしたが、陸上は自分との戦いである点は共通していてそこが面白いです。どうやって記録を伸ばすか考え、練習していくのは本当に楽しいです。スポーツ進学クラスなので水曜、金曜の「スポーツ実習」の時間も含め陸上に打ち込めるのもいいですね。今年は最終学年なので自己ベスト更新を目指します。

総合学科スポーツ進学クラス3年 渡部梨緒さん
(平塚市立大野中学校出身)



VOICE

文化部

みんなで美しいサウンドを響かせる瞬間が最高です

吹奏楽部で、トランペットを担当しています。3年になって副部長になり、後輩を指導したり部をまとめたり、部活を通して責任感をもてるようになりました。吹奏楽は、本番でメンバーの美しいサウンドが響き「今、音楽してるな」と思える瞬間が最高です。今年は最終学年だし、夏のコンクールでトップに立ちたい。そのために自主練習の曜日でもできるだけ出て、みんなで励まし合って、日々練習に励んでいます。

普通科一般クラス3年 前田彩花さん
(平塚市立横内中学校出身)



紅茶を味わう、珍しい部活を楽しんでいます

ティーコーディネート部では月に1~2回、顧問の先生が選ぶ世界各地の紅茶を味わっています。紅茶によって淹れ方が違い、リンゴジュースなどと合わせてグラデーショナルにして作るという方法もあり、なかなか奥深いです。またパウンドケーキやブラウニー、スコーンなども作るので菓子作りの腕が上がるメリットもあります。今年は1年生の新入部員も多く入り、毎回、みんなでワイワイ楽しんでいます。

普通科クリエイティブクラス3年 久我聖央さん
(寒川町立東中学校出身)



小田原駅から徒歩5分 史跡と共生 「小田原のまちが教室」の校地

《第1校地》城内キャンパス

JONAI CAMPAS



キャンパスの特色

- 小田原駅から徒歩5分
- 史跡の緑に囲まれた校舎と校庭
- 小田原城内にある冷暖房完備の近代的校舎
- 高校への進学ガイダンスが充実した入試センター・相談室を常時開設
- バリアフリー施設完成
- 地域の防災センターとなる耐震性に優れた建物
- 新名学園私学教育研究所、400人収容の多目的ホールなど、地域の教育・文化センターの機能アップ
- 安心・安全の施設
- 主に普通科の「学び」の根拠地
- ICT機器を備えた学習室を設置

TOPIC

第1・第2校地に 学習室整備

生徒たちが朝と放課後、土日に大学進学に向けた自主学習をするための学習室が整備されています。情報機器（タブレットやPC等）を具備し、講義、個別学習、教え合い学習等に対応するスペースを配置しています。



正門



コンピュータールーム



ホール



図書室

第1校地の主な施設・設備

第1校舎 2001年9月完成（エレベーター付4階建て）

- 〈1階〉 ホール・ホワイエ（総合学習・身体表現・地域交流・食事・憩いの場）
- 〈2～4階〉 普通教室・ゼミナール室、新名（百周年）記念会館（会議室、同窓会室、地域防災庫）

第2校舎 2001年8月耐震改修完了（4階切り取り耐震補強）

- 〈地階〉 生徒会室・PTA・父母懇談会・六者懇談会室
- 〈1階〉 事務室・来賓応接室・入試センター・法人事務室・カウンセリング室・応接室・新名学園私学教育研究所
- 〈2階〉 職員室・保護者面談室・放送室・印刷室
- 〈3階〉 普通教室・学習室
- 〈屋上〉

第3校舎 2001年3月耐震強化・改修完了

- 〈1階〉 図書室・調理室
- 〈2階〉 コンピュータ室（I）（II）・芸術教室（書道・美術）
- 〈3階〉 理科実験室（I）（II）
- 〈4階〉 音楽室・被服室・ホール

第4校舎 1999年8月完成

- 〈1～3階〉 普通教室、保健室
- ※全棟耐震構造化・空調完備
- ※バリアフリー施設 2008年4月完成

体育館 改修2006年度完了

2階建て、器具庫、シャワー室付

緑豊かな自然と共生 地域と触れ合う教育システム

●《第2校地》久野・荻窪キャンパス●

KUNO OGIKUBO CAMPAS



キャンパスの特色

- キャンパス総面積9万3946㎡
- 緑豊かな立地条件を生かした教育機能整備
- 人工芝総合グラウンドなど地域との関係を意識した学校づくり
- 新しい教育システムに対応したカリキュラムづくり
- 主に総合学科の「学び」の根拠地

スクールバスで登下校

第1校地（小田原駅）から第2校地間は
スクールバスで移動します。



【多種多様な教育設備】



トレーニングルーム



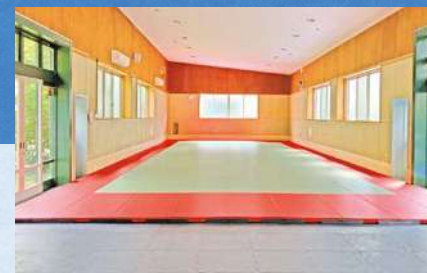
アリーナ



ダンス練習室



剣道場



武道場



相撲場



夜間照明付き総合グラウンド



ボルダリングウォール



校地を流れる川



調理室



陶芸室



セミナールーム

第2校地の主な施設・設備

中央センター

鉄筋コンクリート造及び鉄骨造（エレベーター付）、地上4階・地下1階、床面積8470.20㎡

1号棟 2005年4月竣工

〈教室〉 大セミナー室・中セミナー室・小セミナー室（準備室）

〈特別教室〉 調理室・試食室・情報室・資料教材室・図書室・視聴覚室・実習室

〈管理施設〉 校長室・職員室・面接室・応接室・事務室・用務室・倉庫

2号棟 2005年4月竣工

〈教室〉 セミナー室（準備室）、学習室（キャリアカウンセリング室）

〈特別教室〉 共同厨房・収蔵庫・生徒食堂・調理実習室・食農教育準備室・総合技術科（情報室・製図・デザイン室）・自然科学系実習室・教材室・カウンセリング室

〈管理施設〉 会議室・倉庫

体育館

鉄筋コンクリート造及び鉄骨造、地上3階、床面積1958.76㎡

アリーナ 2007年11月竣工 バスケットコート2面、バレーコート2面、バドミントンコート6面、卓球室、多目的室（ダンス等）、視聴覚室、体育科準備室
※アリーナには床暖房設備整備

総合学習室

1号棟 2004年8月改修整備 トレーニングルームⅡ

2号棟 2002年3月改修整備 トレーニングルームⅠ

3～4号棟 2002年3月改修整備 武道場（相撲・剣道）

5号棟 2003年4月竣工 陶芸実習施設（電動ろくろ）、窯室・教材準備棟/2003年8月竣工

農地実習地

● 食農教育・総合学習実習施設（農具庫と畑） ● 無農薬野菜栽培実習施設

飛び立った先輩たちの進路

Career Achievements

最近の進路状況

大学

青山学院大学 / 慶應義塾大学 / 中央大学 / 法政大学
明治大学 / 東京芸術大学 / 立教大学 / 明治学院大学
順天堂大学 / 日本体育大学

帝京大学 / 湘南医療大学 / 神奈川歯科大学 / 桐蔭横浜大学
横浜商科大学 / 玉川大学 / 東海大学 / 山梨学院大学
日本大学 / 大東文化大学 / 立正大学 / 横浜薬科大学 (特待生試験)

亜細亜大学 / 関東学院大学 / 文教大学 / 洗足学園音楽大学 / 日本文化大学
相模女子大学 / 城西国際大学 / 東京成徳大学 / 神奈川工科大学 / 桜美林大学
高千穂大学 / 田園調布大学 / 鶴見大学 / 駿河台大学 / 東京国際大学
常葉大学 / 尚美学園大学 / 和光大学 / 東京工芸大学 / 湘北短期大学

専修学校

日本電子専門学校	専門学校 東京ビジネス・アカデミー	茅ヶ崎看護専門学校	横浜スイーツ&カフェ専門学校
日本工学院専門学校	神奈川県立神奈川農業アカデミー	横浜保育福祉専門学校	横浜fカレッジ専門学校
東京環境工科専門学校	新宿調理師専門学校	横浜動物専門学校	トヨタ自動車大学校
東京ホテル・トラベル学院専門学校	情報科学専門学校	横浜リハビリテーション専門学校	かなテクカレッジ東部校
町田製菓専門学校	崎村調理師専門学校	横浜リゾート&スポーツ専門学校	かなテクカレッジ西部校
大原簿記医療秘書公務員専門学校町田校	国際フード製菓専門学校	横浜ビューティーアート専門学校	アルファ医療福祉専門学校
大原法律公務員専門学校横浜校	厚木総合専門学校	横浜デジタルアーツ専門学校	YMCA健康福祉専門学校
専門学校ビジョナリーアーツ東京校	厚木看護専門学校	横浜スポーツ&医療ウェルネス専門学校	

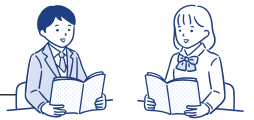
主な就職先

日本郵政株式会社 (窓口コース)	株式会社神奈中スポーツデザイン	株式会社不二家	東華軒
大栄フーズ株式会社	神奈川柑橋果工株式会社	ミモザ株式会社	日本精工株式会社 藤沢工場
東京濾器株式会社	神奈川中央交通西 株式会社	ホテル おかだ	横浜エアフィルター 株式会社
ALSOK双栄株式会社	スタンレー電気株式会社	吉池旅館	医療法人社団 三喜会 鶴巻温泉病院
株式会社横濱屋	日本貨物鉄道株式会社関東支社	株式会社ロピア	山崎製パン株式会社
株式会社リブ・マックス	横浜ゴム株式会社平塚製造所	インターナショナルトレックス株式会社	Naïto事務所社会保険労務士法人
名鉄運輸株式会社厚木支店	市光工業株式会社	株式会社小田急リゾート	株式会社 ホテル南風荘
関東シモハナ物流株式会社厚木営業所	富士電設工業株式会社	株式会社マキバ	
株式会社やまか	日産工機株式会社	足柄乳業株式会社	
紀伊産業株式会社 鴨宮工場	光伸光学工業株式会社	宝製菓株式会社	

授業料・学費支援制度

School Expenses Support System

旭丘高校は「無償教育」の考え方が基本です



私立高校生への手厚い「学費支援制度」で学費の不安や悩みは解決！

後期中等教育 (高等学校段階) での学費無償化導入は、国際人権規約第13条にも定められています。旭丘高校は、子どもを「社会の宝」とし、国民みんなでお金 (税金) と力を出し合って未来の主権者を育てていく「無償教育」の考え方を学校運営の理念としています。「無償教育」の考え方のもと、学園・保護者・同窓生・地域で協力して国や県の就学支援制度・学費補助制度を充実させるための取り組みをしてきました。

Q 私立高校生を対象とした授業料の補助制度はどのようになっていますか？

A 私立高校生への授業料補助制度には、国の「就学支援金」制度と県の「学費支援」制度があります。この二つの制度を活用することで、今年度 (令和7年度) では、年収750万円未満程度の世帯の生徒には、本校の授業料が実質無償になり、年収が750万円以上800万円未満の世帯の生徒については月額18,900円まで軽減されています。さらに年収850万円以上の世帯 (上限なし) に対しても月額9,900円の補助がなされています。※両制度とも、生徒保護者ともに県内在住、かつ県内設置の私立高等学校等に通う生徒が対象となります。

Q 授業料以外の校納金に対しての補助制度はありますか？

A 入学金に対しても「神奈川県学費補助制金」として100,000円が支援されます。さらに生活保護世帯および県民税・市町村民税の所得税が0 (非課税) の世帯に対しては211,000円が支給されます。また、「社会福祉協議会教育支援金」や「母子父子寡婦福祉資金」の制度により、入学準備のための公的支援 (貸付) も受けられます。また、生活保護世帯および県民税・市町村民税の所得税が0 (非課税) の世帯に対して、授業料以外の教育費負担を軽減する「神奈川県高校生等奨学給付金」制度があります。

その他にこんな制度があります

- | | |
|--------------------------------|-------------------------------|
| 01 「神奈川県高等学校奨学金」制度 (貸与制) 月4万円 | 04 社会福祉協議会・生活福祉資金 (貸与制) |
| 02 「神奈川県私立学校生徒緊急支援補助金」制度 (給付制) | 05 国の教育ローン |
| 03 母子父子寡婦福祉資金 (貸与制) | 06 その他の奨学金制度
— あしなが育英奨学金など |

※旭丘高校独自の「新名奨学金制度」もあります。年間14万4000円を貸与。卒業後2年間以内に返還する制度です。

学費についての相談に応じます

旭丘高校では、入学金や施設拡充費等、入学時納入金の準備が困難な方に、様々な学費支援制度を紹介し、このような制度の活用によって納入の見通しが立った場合には、入学時納入金の延納措置についても相談に応じています。※詳しくは、体験入学セミナーや学校説明会の機会にご相談いただくか、本校の入試相談室へお問い合わせください。

HISTORY

創立123年 旭丘高等学校のあゆみ

- 1902 (明治35) 年 ● 新名百刀によって裁縫・造化・織物伝習所開設
- 1904 (明治37) 年 ● 現小田原市本町に移転、新名裁縫学舎と改称
- 1906 (明治39) 年 ● 私立学校令により県知事より設置許可を受け新名裁縫女学校と改称
- 1921 (大正10) 年 ● 新名女学校と改称
- 1923 (大正12) 年 ● 関東大震災により学舎大破、同年修復完了
- 1931 (昭和6) 年 ● 現本町 (現小田原市民会館) を交付され、校有地となる
- 1935 (昭和10) 年 ● 実業学校令により文部大臣の認可を受け新名高等家政女学校と改称
- 1937 (昭和12) 年 ● 創立30周年記念行事举行
- 1942 (昭和17) 年 ● 初代校長 (創立者) 新名百刀死去
- 1943 (昭和18) 年 ● 財団法人新名高等家政学校を設置
- 1944 (昭和19) 年 ● 新名女子商業高等学校と改称
- 1946 (昭和21) 年 ● 新名高等家政女学校に復元
- 1947 (昭和22) 年 ● 教育基本法制定
- 1948 (昭和23) 年 ● 新制高等学校として新名女子高等学校と改称
- 1949 (昭和24) 年 ● 私立学校法施行
- 1951 (昭和26) 年 ● 学校法人新名学園を設立
- 1953 (昭和28) 年 ● 小田原市緑4の725に校舎の一部を新築/普通科過程を併設
- 1954 (昭和29) 年 ● 現在の第1校地に全校舎移転完了
- 1956 (昭和31) 年 ● 学校法人新名学園旭丘女子高等学校と改称
- 1958 (昭和33) 年 ● 箱根大平台研修室を建設
- 1959 (昭和34) 年 ● 旭丘高等学校と改称、男子部設置 (当年度に限り実施)
第1校舎鉄筋コンクリート4階校舎建設に着手
- 1960 (昭和35) 年 ● 第1校舎鉄筋コンクリート4階建て落成
- 1961 (昭和36) 年 ● 商業科を併設 (のち、総合学科に発展移行)
- 1962 (昭和37) 年 ● 創立60周年記念行事举行
- 1963 (昭和38) 年 ● 木造モルタル塗2階建て校舎 (2教室) 落成
- 1969 (昭和44) 年 ● 4月第2校舎建設に着手
- 1972 (昭和47) 年 ● 体育館建設に着手
- 1973 (昭和48) 年 ● 体育館兼講道館落成
- 1981 (昭和56) 年 ● 第3校舎 (特別教室) 落成
- 1982 (昭和57) 年 ● 創立80周年記念事業式典举行
- 1986 (昭和61) 年 ● 学園総合整備構想 (計画) 策定
- 1992 (平成4) 年 ● 創立90周年記念行事举行
- 1994 (平成6) 年 ● 「旭丘高校の教育を守る会」結成
- 1996 (平成8) 年 ● 家庭科廃止
- 1998 (平成10) 年 ● 水野浩学園長に就任
- 1999 (平成11) 年 ● 男女共学制復活実施、新教育目標改定 (現行)/第4校舎落成
- 2001 (平成13) 年 ● 水野浩理事長に就任
- 2002 (平成14) 年 ● 第2校地多目的コートと管理棟・総合学習棟整備完了
- 2003 (平成15) 年 ● 第2校地総合グラウンド、スポーツ管理棟完成
創立100周年記念式典举行
第2校地5号棟完成
- 2004 (平成16) 年 ● 商業科廃止/全学協議会結成
- 2005 (平成17) 年 ● 第2校地中央センター落成
- 2007 (平成19) 年 ● 第2校地中央センターⅢ期
- 2009 (平成21) 年 ● 新名学園私学教育研究所設立
- 2010 (平成22) 年 ● 不登校生徒特別クラス (ベーシッククラス) 開設
- 2012 (平成24) 年 ● 「新総合計画」策定/創立110周年記念式典举行/制服改定
中国・西安外国語大学付属西安外国語学校との教育交流開始
- 2013 (平成25) 年 ● 制服の改定 (着用開始)
- 2014 (平成26) 年 ● 国際連携教育・第1次日中友好団訪中
高校生文化・スポーツ交流実施
- 2015 (平成27) 年 ● 普通科クリエイティブクラス開設
姉妹校・西安外国語大学付属西安外国語学校来校 (第1次)
- 2016 (平成28) 年 ● 姉妹校・安陽市第37中学校来校 (第1次)
- 2017 (平成29) 年 ● 総合学科スポーツ進学クラス開設
- 2020 (令和2) 年 ● 総合学科国際クラス開設/第2校地総合グラウンド造成整備
(人工芝サッカー場・陸上トラック、投擲フィールド他)完了
第2校地総合グラウンド人工芝サッカー場照明設置、
キックインセレモニー完成式举行
- 2022 (令和4) 年 ● 創立120周年記念式典举行
- 2024 (令和6) 年 ● 中国鄭州西斯達城市森林学校と姉妹校提携
- 2025 (令和7) 年 ● リーダーズ・アカデミッククラス開設



新名百刀先生の訓話の時間 (昭和14年)



商業科併設 (昭和36年)



男女共学、新制服を全学で考える



創立100周年記念式典



第2校地完成



日中国際交流



創立120周年記念式典

VISION

創立130周年に向けて

学園は創立123年目の年を迎え、創立130周年に向けた中長期学園発展計画づくりを進めています。今後のビジョンとして青年期の発達教育の構築をベースに、情報教育、国際連携により力を入れていきます。ICT教育や海外提携校との交流の活発化などがその例です。また生徒の個性、可能性を育て上げていくために進路・進学教育を推進していきます。生徒に寄り添ったきめ細かい進路指導や学習支援体制の充実化などで成果を上げていきます。歴史と伝統を守りながら、時代に即した教育を展開していく本校のこれからにご期待ください。

新名学園私学教育研究所「5つの研究課題」

新名学園私学教育研究所は2009年10月に設置されました。次の5つの研究課題のもと、子ども・生徒や保護者、教職員、地域の現実の課題と結んだ研究活動が進められています。

- 1 私学と無償教育と公費私学創造の課題。
- 2 子ども・生徒の発達研究。(建学の精神・教育目標にそって)
- 3 日本国憲法の平和的生存権の保障、核兵器のない世界に向けた平和教育創造の研究。
- 4 地球環境と地域環境の問題についての研究。
- 5 小田原のまちづくりに係る「学校と史跡の共生」「小田原のまちの教育・文化の創造」の課題。

理事長・学園長からのメッセージ



生徒の個性を伸ばし、希望に寄り添い
3年間でその可能性を広げ
未来へ向けた道を拓いていきます

新名学園 旭丘高等学校 理事長・学園長
水野 浩

本校は2022年10月1日に制立120周年の節目の時を迎えました。今日のアフターコロナの社会状況において、建学の精神の確信である「無くてはならぬ指折り仲間の人になれ」という教えをSDGs運動に重ね、一人ひとりの個性、能力を確かめ希望と誇りを持つ高校生生活を創る諸活動を展開しております。

キャリア教育については、不登校生徒の発達保障を図るベーシッククラス、学力回復と進路保障を図るクリエイティブクラス、大学進学ジェネラルクラス、スポーツ進学クラス、国際クラスと多様なバックボーンに対応するカリキュラムを整備し、さらに今年度からより高いレベルの大学を目指す特別進学クラスとして「リーダーズ・アカデミッククラス」を新設しました。学力向上については情報機器を備え学習支援ソフトを活用する「進学・学習室」、本校の担当教員とチューター(外部携師)が試験対策、資格対策、受験対策などのサポートを行う「まなびコーチング」などを取り入れ、生徒のやる気に

応える環境を整えています。

本校の特徴である国際連携教育では中国の西安・安陽・鄭州の三つの高校と姉妹校連携モンゴル留学生受け入れとウランバートルの高校との姉妹校提携を結び、コロナ禍で中断していた生徒の直接交流も再開しています。また、中国、カナダの高校への短期留学も構想しています。

このほか本校では生徒が学校生活や行事の在り方を考え実行していく生徒会をはじめ平和教育としての長崎修学旅行、SDGsの実践の場としての地域の清掃活動、お祭りへの参加など多彩な学びの機会を設け、生徒たちが積極的に参加し、かけがえのない経験という財産を得ているのも嬉しい姿です。

このような本校ならではの教育が展開される3年間で、生徒の可能性は広がり、一人ひとりが、Think Globally, Act Locallyの視点を持ち、自らの未来を拓いています。

